

栄養士養成科 受講生募集



訓練科名	栄養士養成科 定員 5名
訓練期間	令和6年4月2日(火)～令和8年3月31日(火) 【2年間】 訓練時間 9:00～17:50
訓練場所	学校法人享栄学園 鈴鹿大学短期大学部 電話 059-372-3900 〒510-0298 三重県鈴鹿市郡山町 663-222
募集対象者	公共職業安定所に求職申込されている者で、訓練受講にあたっては公共職業安定所長の受講指示、受講推薦又は支援指示を受けることができる者。 ※ 新規学卒者は対象外となります。 ※ 入学要件上、高等学校卒業以上等であることが必要です。 ※ その他要件がありますので、詳細につきまして必ず各公共職業安定所にご相談ください。
費用等	受講料は無料です。 ※ 但し、テキスト費、学外実習費、損害保険費、事務費、同窓会費等の実費約 193,930 円(税別)(2年間)が必要です。 ・ 訓練における不慮の災害等に備えて「訓練生総合保険」に加入する場合は、15,850 円が必要で す。(加入は任意です。) ・ 資格取得の検定受検料が別途必要です。 ・ 資格取得に係る法定講習の補講実施の場合、その費用が受講生の負担となることがあります。
受講手続き等	受講希望の方は、公共職業安定所で受講申込の手続きを行った後に、下記のいずれ れかの「入校説明会・入校選考試験」に必ず出席してください。 日時 第1回 令和6年2月17日(土)10:00 開始 出願締切 2月7日(水)必着 第2回 令和6年3月9日(土)10:00 開始 出願締切 2月28日(水)必着 第3回 令和6年3月14日(木)10:00 開始 出願締切 3月6日(水)必着 (開始 10 分前には会場へお越しください。) 場所 学校法人享栄学園 鈴鹿大学短期大学部 ※ 駐車場 有 ○「能力開発説明会申込書の写し」を持参してください。 (公共職業安定所で受講申込をすると交付されます。 この申込みをされていない方は入校選考試験を 受けることができません。) ○ハローワーク受付票を持参してください。 ○雇用保険受給対象の方は、雇用保険受給資格者証を持参してください。 ○筆記用具(ボールペン、鉛筆、消しゴム等)及び印鑑(認印)を持参して下さい。 ○眼鏡等必要な方は、各自でご準備ください。 ○入校予定になられた方は、令和6年3月29日(金)10:00 開始(2時間程度)に訓練場所にて実施の 入校手続きに参加していただきます。 ※入校選考試験結果については、令和6年3月21日(木)に発送予定です。
<問合せ先>	三重県立津高等技術学校 〒514-0817 津市高茶屋小森町1176-2 TEL 059-234-7758 FAX 059-234-3668 ※訓練内容の詳細については、訓練場所へ直接お問い合わせください。



(募集案内裏面)

委託訓練カリキュラム

訓練科名	栄養士養成科	就職先の職務	栄養士
訓練時間	2年		
訓練目標	厚生労働大臣指定の栄養士養成課程のカリキュラムを中心に、座学での知識習得と実践に即した技術を習得し、人々が健康を保持、増進するための栄養指導ができる人材を養成することを目的とする。		
訓練内容	栄養士資格を有する専門的な人材として、栄養指導の知識、技術を活かした職種への就職をめざす。		

訓練科目 (合計 1,469 時間)

学科 (教養科目)

科目の内容	時間	科目の内容	時間	科目の内容	時間
英会話 I	30	生活情報処理 I	30	生活情報処理 II	30
食と持続可能性	30	AI・データサイエンス基礎	30	初年次教育 I	16
初年次教育 II	16				

学科 (専門教育科目)

科目の内容	時間	科目の内容	時間	科目の内容	時間
フィールドワーク I	30	フィールドワーク II	30	公衆衛生学	30
社会福祉	30	解剖学及び生理学	30	運動生理学	30
生化学	30	病理学	30	食品学総論	30
食品学各論	30	食品衛生学	30	食生活論	30
基礎栄養学	30	応用栄養学	30	臨床栄養学	30
栄養教育論	30	栄養カウンセリング論	16	栄養情報処理	30
公衆栄養学	30	給食管理	30	調理学	30

実習 (専門教育科目)

科目の内容	時間	科目の内容	時間	科目の内容	時間
解剖生理学実験	45	生化学実験	45	食品学実験	45
食品衛生学実験	45	応用栄養学実習	45	臨床栄養学実習	45
栄養教育論実習	45	食育実践実習	45	給食実務論実習 I	90
給食実務論実習 II	54	調理学実習	45	調理学実験	45
給食計画論実習	45				

就職支援 (教養科目)

科目の内容	時間	科目の内容	時間
キャリアデザイン I	16	キャリアデザイン II	16

備考

上記科目の時間数には、教育効果を高めるための研修会・講演会での聴講やオープンキャンパス・大学祭など各種イベントでの実践時間を含む。